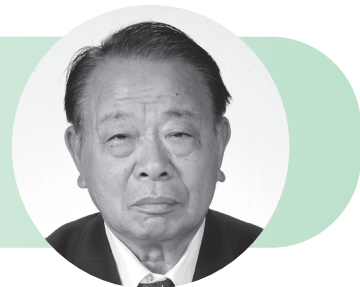


伊藤 正信 議員



## 狭隘道路解消は市が地主に働き掛けてほしいがどうか

**問**

市政について聞く。

- (1) 良好な宅地供給の促進と空き家対策は。
- (2) 地域づくり補助金は、85団体に470万円が使われているが、検証はしたか。
- (3) 狭隘道路解消は、地主がそこで生活していないと(拡幅に理解が得られず)どうにもならない。
- 市として最低4m道路を方針とし、地主に協力を得る形をつくってほしいがどうか。
- (4) ごみ袋問題は、2度と起きてはならない。
- 市の懲戒処分基準について、内容的に身を引き締めるよう検討すべきではないか。
- (5) 通学路の安全調査の内容は。
- (6) 水路等整備に3年間で

(7) 農地の賃借料は、どれだけ予算を使ったのか。

### 地域で議論後、内容検討したい

**答** 都市計画課長

- (1) 市は、土地区画整理事業で宅地供給を進めている。民間の宅地分譲は、要綱改正を行い、優良宅地供給を進めている。
- 空き家対策は全国的にも、条例等踏まえた対策が進められている。今後、方針等を考えながら、情報収集していきたい。
- 答** 市長
- (2) 私もすべての申請に目を通してはいる。
- 会計報告等もしっかり内容が記載されており、継続事業と考えている。

- (3) 地主の協力がありきである。
- 地域でしっかりと議論してもらい、市もその内容を検討していきたい。
- (4) 懲戒は慎重に扱わざるを得ず、基準を見直すものではない。

**答** 教育部長

- (5) 24年7、8月に、学校、道路管理者、警察の合同で、小学校通学路の安全点検を実施し、横断歩道、信号機、ガードレール、街灯設置要望など、51の危険個所を確認した。
- 今後は、優先順位等を検討し、順次対策を進めていくことになる。
- 答** 農政課長
- (6) 23年度ま

での3年間に市内で整備された排水路は2万4千150mで、事業費は22億7千700万円、県補助金が19億8千万円である。

(7) 24年度、鍋田地区で10a当たり1万2千100円、その他の地区は1万円である。



▶ 通学路点検で確認された対策必要個所【白鳥学区】